

おわりに

「つながる」、このキーワードを特に最近よく耳にするようになってきました。3社ある通信事業者のCMは、それぞれの特長をもとに「つながる」をアピールしています。近年の通信技術の向上で有線のみならず、無線の通信速度も飛躍的に伸び、全国のどこにいても「つながる」環境がほぼ整ったと言えます。情報端末に目をやると、デスクトップやノートパソコンからタブレット端末へと少しずつ移行してきているように思われます。人が情報端末に向かっていった時代から、持ち運ぶ時代へと変化してきていると言えるのではないのでしょうか。

こうした中、情報教育委員会では平成7年度より愛媛県下の全小中学校における情報教育環境の現状把握を行っており、そのデータを各市町に公開するとともに整備計画等に役立てていただけるよう調査を継続しています。またこのデータの蓄積は、これまでの愛媛県の情報教育推進を考察する上で貴重なものとなっていることは言うまでもありません。集計された調査結果を元に、愛媛県情報教育研修会を開催しており、本年度は東予地区、丹原東中学校を会場に行われました。昨年度の実践研究を発表していただくとともに、学校教育ICT活用研究会の会長である井上志朗先生をお招きし、ご講演いただきました。午後からは、「フォトポエム」のワークショップを実施するなど意義ある研修ができました。このような活動の積み重ねが愛媛県の情報教育推進の礎となると思われまます。

さらに、本年度は、タブレットの研究にも取り組みました。今後導入が考えられるタブレットの活用法を探るとともに、各市町で導入されたときの情報提供を行うことができるよう実践研究に取り組みました。初年度ということもあり、授業におけるさまざまな事例を収集することができました。次年度以降、研究を継続してさらなる情報を発信していきたいと思ひます。

情報化社会はめざましい勢いで進歩しています。その波が教育現場にも押し寄せてきています。現状のICT機器を教育に有効活用する研究を推進するとともに、先を見通した先行的な研究も推し進めていかななくてはなりません。その役目を我々委員会は担っていると考えています。機器の「つながり」ではなく、その先にある人と人の「つながり」を意識し、ICT機器活用が目的ではなく、コミュニケーションの手段となる情報教育の実践研究に今後も取り組んでいきたいと思ひます。

本年1年間の活動に対する皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後の愛媛の情報教育推進のために、ともに取り組んでいただくことを重ねてお願い申し上げます。

平成26年3月

愛媛県教育研究協議会情報教育専門研究委員会